

CITIZEN [®]	取扱説明書番号 D124-CGXD1
	室内用
<h1>電波時計 取扱説明書</h1> <p>(デジタル電子音目覚まし時計)</p>	
<p>お買い上げいただきありがとうございます。 お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 取扱説明書は、お読みになった後もお手元保管して、必要に応じてご覧ください。</p>	
<small>製造販売元</small> リズム株式会社 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12 https://www.rhythm.co.jp	

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのおアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

- 修理部品の保有について**
電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について**
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

(フリーダイヤル)
お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)
 お問い合わせに際しては、製品番号(型番)をお伝えください。例 BRZ000 (Y2402)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明
⓪は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

㊦は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- ⚠ **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- ⚠ **電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- ⚠ **電池の⊕⊖を正しく入れる**
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

- ⚠ **強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。

- ⚠ **浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**
さびや故障の原因になります。

- ⚠ **ぬれた手でさわらない**
さびや故障の原因になります。

- ⚠ **分解や改造をしない**
けがや故障の原因になります。

- ⚠ **液晶から漏れた液に素手でさわらない**
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はかね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jijy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。
海外でご利用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

用途について

- この製品は医療や業務用として開発したものではありません。
- 注意報は、測定条件によって大きく変化します。あくまでも目安としてお使いください。
- 本製品は、温度・湿度の証明など商取引に使用することはできません。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げの販売店にご持参ください。
無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

※印は販売店記入

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
- お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
- 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- ご使用中に生じる外観上の変化。(製品の小さなズワレなど)
- 電池の交換。

- ネット通販をご利用の場合は、領収書やレシートなど、購入日が確認できる記録を添付してください。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報は、修理・調整に関するご連絡のみ利用させていただきます。

熱中症の予防について

日常生活における熱中症予防指針
日本生気象学会(2013)
日常生活における熱中症予防指針Ver.3より

製品の表示	温度基準(WBGT温度)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
	危険 (31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
	厳重警戒 (28～31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
	警戒 (25～28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
	注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

(28～31℃は 28℃以上31℃未満の意味)
上記のWBGTの温度範囲に、測定した温度を直接当てはめることはできません。WBGT温度(暑さ指数)は熱中症予防のための指標で、気温、気流、湿度、輻射熱の4要素の組み合わせによる温熱環境を総合的に評価したものです。本製品のWBGTは温度と湿度からの推定値を使用しています。

注意すべき生活活動強度の目安
日本生気象学会(2013)
日常生活における熱中症予防指針Ver.3より

軽い(3.0 METs 未満)	中等度(3.0-6.5 METs)	強い(6.5 METs 以上)	
休息・談話 食事・身の回り 楽器演奏 裁縫(縫いミシンかけ) 自動車運転 机上事務 乗物(電車/バス立位)洗濯	手洗い・洗顔・歯磨き 炊事(料理かたづけ) 買い物 掃除(電気掃除機) 普通歩行(67m/分) ストレッチング ゲートボール※	自転車(16km/時未満)庭の草むしり 速歩(95-100m/分) 芝刈り ウオーキング(107m/分) 布団あげおろし 美容体操 ジャズダンス ゴルフ※ 床磨き 野球※ 垣根の刈り込み	ジョギング サッカー テニス 水泳 自転車(約20km/時) バスケットボール リズム体操 エアロビクス 卓球 バドミントン

※野球やゴルフ、ゲートボールは活動強度は低いが運動時間が長いので要注意。

◎METs(メッツ)は身体活動の「強さ」を表す単位です。安静時に対して何倍の身体活動に相当するのかを「6.5METs」のように表します。

ひとくちメモ

熱中症

高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流(風)、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- **プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。**
- **長期間使用しないときは電池を取り外す。**
- **電池に表示されている使用推奨期間内に使う。**
- **古い電池と新しい電池を混ぜない。**
- **時計が動いていても定期的に交換する。**
- **時計が止まったらすぐに電池を取り外す。**
- **幼児の手が届かない所に置く。**
- **種類の異なる電池を混ぜない。**

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。(例：Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

おもな製品仕様

使用温度範囲	−10～50℃ *結露しないこと	アラーム機能	設定した時刻にアラームを鳴らす
液晶表示可読温度	0～40℃	アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
時間精度	電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(5～35℃のときのクォーツ精度)	アラーム音	電子音
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格R6P 1.5V 2個	スヌーズ	アラーム音が約5分間の一時停止
電池寿命	約1年 アラームを30秒鳴らし、照明を5秒点灯した場合(1日当たり) (注1)	オートストップ	アラーム音が連続2分で自動停止
電池交換時期	なし	カレンダー	2013～2099年対応
お知らせ機能		時刻表示形式	12時間/24時間 選択式
		照明	液晶表示部をLEDで照明
		温度	
		表示範囲	−9.9～50℃
標準電波機能	標準電波受信により自動時刻修正	温度の精度	±2℃ (表示範囲において)
受信局	福島局/九州局自動選択	湿度	
受信ON/OFF	あり	表示範囲	20～95%RH (注2)
受信回数	1日8回	湿度の精度	±10%RH (表示範囲において)
受信開始時刻	1時～4時、13時～16時の時間帯の16分40秒	温湿度測定間隔	1分間隔

(注1)電池寿命は音や光の警告を停止させたときのものです。音や光での警告を使用した場合、警告の頻度が高くなると電池寿命が短くなります。

(注2)「%RH」は相対湿度の表しています。天気予報など一般的には「%」で表示されています。

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。

40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。種類の異なる電池と混ぜて使わないでください。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。

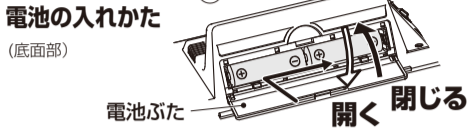
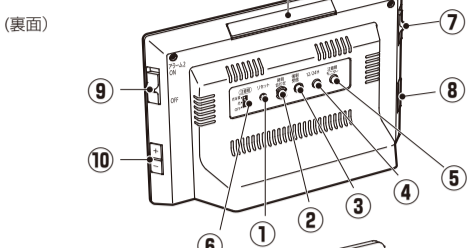
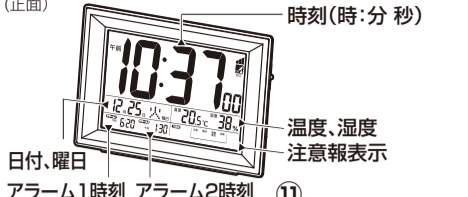
※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品	取扱説明書・保証書 本書
-----	--------------

電池は付属しておりません。単3形マンガン乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。(正面)



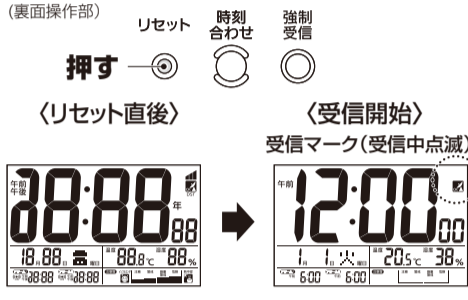
●1個目の電池は左側に入れてから右に寄せる。

- ①リセット — 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。押すと2013年1月1日午前12:00アラーム時刻午前6:00になります。
 - ②時刻合わせ — 手で日時を合わせるときに使用。
 - ③強制受信 — すぐに電波の受信を開始させたいときに押す。
 - ④12/24H — 時刻表示形式 12時間/24時間切り替え。
 - ⑤注意報モニター — 光、音による警告を試すときに押す。
 - ⑥警告スイッチ — 警告の方式を選択
 - ⑦アラーム1 — アラーム1のアラームON/OFFスイッチ。
 - ⑧アラーム1+/- — アラーム1の時刻を設定するときを使用。
 - ⑨アラーム2 — アラーム2のアラームON/OFFスイッチ。
 - ⑩アラーム2+/- — アラーム2の時刻を設定するときを使用。
 - ⑪スヌーズ — アラーム音の一時停止。ライトボタン兼用。
- 電池を入れるときは、底面の電池ふたを開閉してください。
- △注意 必ず電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れてください。指示と逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- ※液晶の表示は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

1 電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

【受信の流れと表示】



受信中の受信マークの変化(電波サーチ機能)
電波の状態により変化します。



標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく

●場所を変える／受信をやり直す
ベランダや電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

年、月、日、時刻(時・分)でのボタン操作
数値を+または-ボタンで合わせてから時刻合わせボタンを押します。

ボタン	押してすぐ離す	押し続ける
+	1つ進む	早送り
-	1つ戻る	早戻し

アラーム1と2の+、-ボタンが使用できます。

リセット 時刻合わせ ⊖ ⊕ ⊗ 時刻合わせボタン

- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

操作例 2018年12月25日 午前10:37に合わせる設定する対象の数値

①年 時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける

②年を合わせる

③月を合わせる

④日を合わせる

⑤時を合わせる 12時間表示のときはAM(午前)/PM(午後)表示に注意してください。

⑥分を合わせる 時、分のときに+または-ボタンを押すと秒が00になります。以上で設定は終わりです。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (時刻を標準電波で修正しない)
リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。

○OFFになるとリセットボタンまたは強制受信ボタンを押しても受信マークを表示しません。

○日時は手動で合わせてください。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)
アラーム1または2の-ボタンを押しながら、リセットボタンを押すと受信を開始します。その後-ボタンを離します。

標準電波を定期的に受信して標準時に合わせます。

- ※電池を抜いて回路内に電荷がなくなると受信機能がONになります。
- ※受信機能がONの場合、手動で日時を合わせても受信に成功すると日時を修正します。
- ※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

2 アラーム機能を使う

アラーム1と2、2つのアラーム時刻を設定して使用することができます。

○アラームが鳴っているときに、もう一方のアラーム時刻になったときは、後からのアラームがスヌーズとオートストップ機能の対象になります。

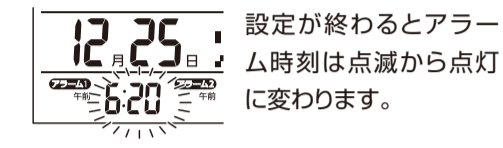
○アラーム時刻やアラームのON/OFFの操作は、アラーム1、2それぞれの+/-ボタンやアラームスイッチで設定してください。

※下記はアラーム1の操作例です。アラーム2の操作手順も同じです。

※アラーム状態(アラームが鳴っている、アラームマークが点滅している)のときはアラーム時刻を設定することはできません。アラーム1と2のアラームスイッチをOFFにしてから操作してください。

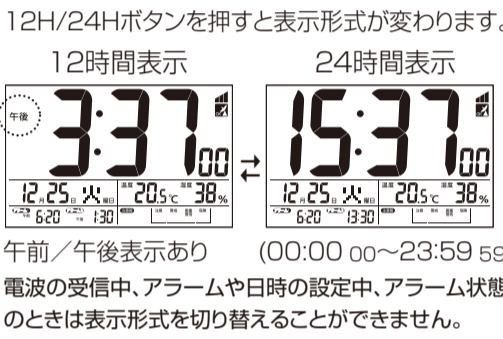
アラーム時刻を合わせる

- アラームスイッチをOFFにする
- +または-ボタンを押してすぐ離す
アラーム時刻が点滅します。
- +または-ボタンでアラーム時刻を合わせる
ボタン 押してすぐ離す 押し続ける
+ 1分進む 1分戻る
- 早送り 早戻し
- 約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わ



◎スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)
アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すと、アラームは止まり、アラームマークは点灯表示になります。

時刻表示形式の切り替え



温度・湿度、注意報(インフルエンザ/熱中症)の表示

注意報は発生の有無を断定するものではありません。空調や体調管理などの目安としてお使いください。また、公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

- 直射日光があたる場所や暖房機器、除湿機、加湿器のそばでは、これらの影響を受けやすくなります。
- 設置する高さによっても温度、湿度が変わります。
- 湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しの良い所と悪い所では違いがでます。
- センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
- 測定は1分間隔で行います。
- 電波の受信中は、温度湿度の測定と音や光による警告を行いません。

温度/湿度が測定できないときの表示

温度 「HH.H」 50℃より高温 「LL.L」 -9.9℃より低温
湿度 「HH」 95%RHを超えている 「LL」 20%RH未満 「--」測定不能(温度が5~50℃の範囲外)

注意報の表示 (環境の目安表示)

インフルエンザや熱中症が発生しやすい条件になると対応したマークが点滅表示します。

注意報がないときの表示 **インフルエンザマーク** **熱中症マーク**

注意すべき度合いに応じたマークが表示されます。裏面(熱中症の予防について)参照

光、音による警告について(警告スイッチ)

注意報 警告スイッチを「光」または「光&音」にすると、注意報の状態に応じて定期的に15秒間、音や光(照明)でお知らせします。OFFにすると音や光での警告をしません。

◎事前にモニター機能で表示や警告がどのように変わるか確認してください。

◎音量や光の明るさの調節、暗くなると自動停止する機能はありません。

インフルエンザマーク点滅:5分間隔でお知らせします。
熱中症マーク点滅:注意すべき度合いにより鳴りかたや光りかたが変化。5分間隔でお知らせします。
※注意すべき度合いが「注意」のときは、音や光ではお知らせしません。
※注意すべき度合いが変わるときにもお知らせします。
※電波の受信中は、音や光の警告を行いません。

注意報の表示と音と光による警告のしかたを確認する

注意報モニターボタンを押し続けると警戒、嚴重警戒、危険、インフルエンザと表示が変わり、それに対応した音と光による警告をします。注意報モニターボタンを離すと止まります。
※電波の受信中、アラームや日時の設定中、アラーム状態のときは使用できません。

設置場所について

注意 一般的な家庭やオフィスの室内用です。粉じんが多い所、水がかかる所、結露する所では使用しないでください。故障や誤作動の原因になります。

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕⊖を指定と逆向きに入れない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。

電池・製品の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。